

---

情報番号：教育技法-4

テーマ：導入技法

編著者：IBEX-T

## 1. 導入技法とは

研修のオリエンテーションの段階で用いるため、総称して導入技法という。補助的な技法であるが、研修の最初に用いるため、雰囲気作りにも役立つし、うまく活用すれば全体の研修効果を高めることもできる。通常は導入時に、簡単な自己紹介でスタートすることが多いが、ありきたりでインパクトが少ない。特に研修のスタイルが討議方式や体験学習方式が中心である時には、早い時期に雰囲気を和らげ、参加者相互の理解を図る必要があるので、導入技法が大変重要になる。

導入技法には、いくつかのバリエーションがあるが、どの研修に、どの方法を用いなければならないという決まりはない。比較的簡単なものも多いので、基本をマスターしたら、自分なりに様々な改良を加えて実施してみたい。